

# 令和2年度 第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会

日 時 令和2年11月19日(木)  
午後6時30分  
場 所 リサイクルプラザ苫小牧  
2階 会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 部長挨拶

### 4 議 題

#### (1) 報告事項

##### ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

① 「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過について 【資料1-1】

② 「米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場から千歳基地への訓練移転」  
に関する報告について 【資料1-2】

③ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過について 【資料1-3】

④ 沖縄県の負担軽減調査結果について 【資料1-4】

##### イ 航空機事故関連について

① 令和2年度(上期)航空機の部品落下事案について 【資料 2】

ウ 令和2年度要望活動結果について 【資料 3】

#### (2) 協議事項

ア 令和2・3年度再編関連訓練移転等交付金事業について 【資料 4】

### 5 その他

**「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過**

※令和2年度第2回苫小牧市航空機騒音対策協議会(令和2年8月18日)以降の経過

令和2年10月16日	米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転に関する訓練計画概要について
------------	--



## 千歳基地への訓練移転実施内容(結果)について

期 間	令和2年8月24日(月)～令和2年8月28日(金)			
訓 練 回 数	8月24日	10:40～12:20	日本海側	米軍F-15×4機、自衛隊F-15×4機
		15:35～17:50	日本海側	米軍F-15×4機、自衛隊F-15×8機
	25日	10:30～12:40	日本海側	米軍F-15×4機、自衛隊F-15×8機 米軍F-16×4機
		15:30～17:35	日本海側	米軍F-15×4機、自衛隊F-15×4機 米軍F-16×4機
	26日	10:30～12:55	日本海側	米軍F-15×4機、自衛隊F-15×8機 米軍F-16×4機
		15:35～17:30	日本海側	米軍F-15×3機、自衛隊F-15×8機 米軍F-16×4機
	27日	10:45～12:45	日本海側	米軍F-15×4機、自衛隊F-15×8機 米軍F-16×4機
		15:30～16:45	日本海側	米軍F-16×6機、自衛隊F-15×4機
	28日	08:20～10:15	日本海側	米軍F-15×4機、自衛隊F-15×4機
	計 9 回		日本海側 9 回 太平洋側 0 回	※ 地上給油訓練は計7回実施
参 加 部 隊	米 軍：第18航空団(嘉手納) 第35戦闘航空団(三沢) 航空自衛隊：第2航空団(千歳)、第1輸送航空隊(小牧)、第2輸送航空隊(入間)、 第3輸送航空隊(美保)			
使 用 基 地	千歳基地			
演 練 項 目	地上給油訓練、戦闘機戦闘訓練等			
使用訓練空域	北海道西方空域			
参 加 規 模	タイプⅡ訓練 米 軍：F-15×6機、F-16×6機、人員約200名 航空自衛隊：F-15×8機、C-130×1機、C-1×1機、C-2×1機			
米 軍 の 移 動 関 係	8月19日：米軍の輸送機(C-130×1機) 到着、離陸 21日：米軍の戦闘機(F-15×6機) 飛来 米軍の輸送機(C-130×1機) 到着、離陸 22日：米軍の輸送機(C-130×1機) 到着、離陸 24日：米軍の輸送機(C-130×2機) 到着、離陸 米軍の戦闘機(F-16×6機) 飛来 27日：米軍の戦闘機(F-16×6機) 帰還 28日：米軍の戦闘機(F-15×6機) 帰還 米軍の輸送機(C-130×3機) 到着、離陸 29日：米軍の輸送機(C-130×1機) 到着、離陸 9月2日：米軍の輸送機(C-130×1機) 到着、離陸 3日：米軍の輸送機(C-130×1機) 到着、離陸			
米 軍 人 の 外 出	外出なし			
現 地 部 連 絡 本 部	設 置:令和2年8月19日(水)		閉 所:令和2年9月3日(木)	

## 訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について

### 【苫小牧市】

苦情	0件	
問い合わせ等	3件	・騒音について

### 【千歳市】

苦情	0件	
問い合わせ等	2件	・米軍の宿泊施設場所について ・コロナ禍での訓練の必要性について

### 【現地連絡本部】

苦情	1件	・騒音について
問い合わせ等	0件	

# 訓練移転に伴う騒音測定結果について

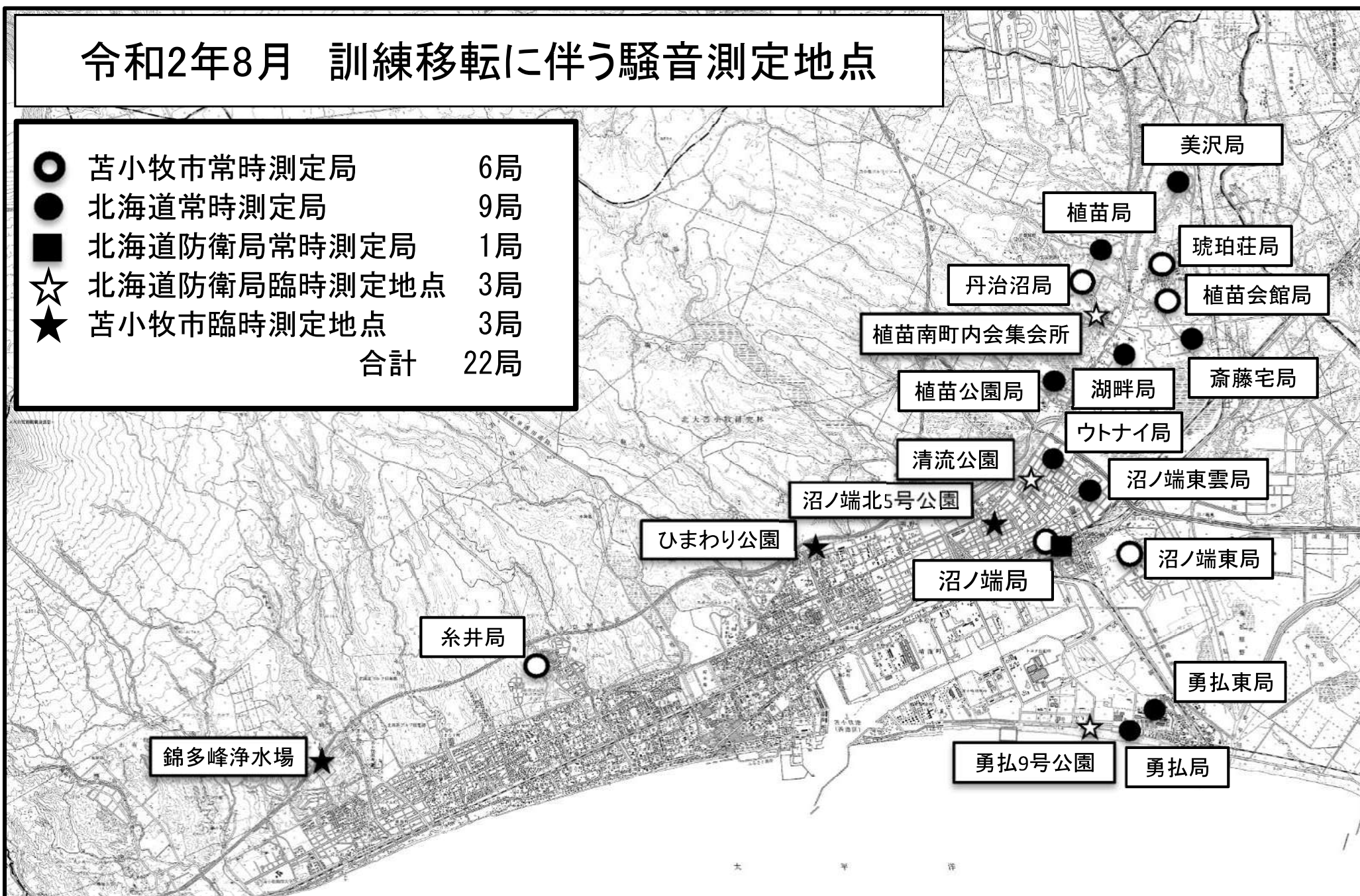
令和2年8月実施

## 資料

- 訓練移転に伴う騒音測定地点
- 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果
- 苫小牧市内航空機騒音常時測定局 Lden
- 評価

# 令和2年8月 訓練移転に伴う騒音測定地点

○	苫小牧市常時測定局	6局
●	北海道常時測定局	9局
■	北海道防衛局常時測定局	1局
☆	北海道防衛局臨時測定地点	3局
★	苫小牧市臨時測定地点	3局
	合計	22局



令和2年8月 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果

単位: dB

		F-15(米軍)				F-16(米軍)				F-15(自衛隊)				【参考値】		これまでの 訓練移転 最高値	
		最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値				
苫小牧市	臨時	沼ノ端北5号公園	83.5	73.9	-	-	79.4	-	-	-	77.5	-	-	-	-	-	94
		新明町ひまわり公園	84.4	-	-	-	80.9	-	-	-	78.8	-	-	-	-	-	83
		字錦岡錦多峰浄水場	76.2	-	-	-	67.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	常時	植苗会館局	72.5	-	-	-	72.9	-	-	-	82.6	-	-	75.1	88	65	82
		丹治沼局	78.6	73.4	-	-	78.8	-	-	-	83.8	-	-	72.8	97	73	96
		琥珀荘局	76.9	-	-	-	74.1	-	-	-	83.2	-	-	75.1	88	66	85
		沼ノ端東局	73.4	69.2	-	-	69.1	-	-	-	75.4	-	-	-	91	69	90
		沼ノ端局	75.1	88.1	-	-	71.4	-	-	-	76.3	-	-	-	97	67	97
		糸井	76.3	-	-	-	71.1	-	-	-	65.8	-	-	-	-	-	-
		北海道	常時	植苗局	81.3	-	-	-	78.7	-	-	-	84.5	-	-	77.9	92
ウトナイ局	84.8	87.8		-	-	76.7	-	-	-	85.2	-	-	-	97	69	99	
美沢局	73.0	-		-	-	74.6	-	-	-	80.4	-	-	75.0	89	63	81	
湖畔局	84.1	73.0		-	-	74.9	-	-	-	84.4	-	-	76.8	93	71	94	
斉藤宅局	73.3	-		-	-	73.2	-	-	-	82.9	-	-	76.5	91	64	86	
植苗公園局	85.8	77.3		-	-	81.8	-	-	-	83.6	-	-	72.6	98	69	97	
勇払局	-	70.9		-	-	-	-	-	-	70.4	-	-	-	94	66	89	
沼ノ端東雲局	80.0	76.3		-	-	72.4	-	-	-	79.4	-	-	-	94	67	96	
勇払東局	-	-		-	-	-	-	-	-	71.7	-	-	-	95	66	87	
防衛局	臨時	植苗南町内会	78.3	64.3	-	-	79.5	-	-	-	87.1	-	-	-	-	-	96
		清流公園	86.1	88.2	-	-	80.8	-	-	-	83.5	-	-	-	-	-	100
		勇払9号公園	65.1	66.1	-	-	-	-	-	-	64.9	-	-	-	-	-	93
	常時	沼ノ端局	75.7	87.6	-	-	73.9	-	-	-	74.6	-	-	-	-	-	98

- 【備考】
- ① 苫小牧市臨時測定局、苫小牧市常時測定局の測定値は、暗騒音+10dBかつ60dB以上の音が5秒以上継続したデータです。
  - ② 北海道常時測定局の測定値は、70dB以上のデータです。
  - ③ 上記表中の「-」は航空機騒音の観測が無かったことを表しています。
  - ④ 参考値の令和元年度(年間)の測定値には、自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。



## 苫小牧市内航空機騒音常時測定局 Lden

単位: dB

		訓練期間中 8月21日(金) ～8月28日(金)のLden	R1年度4月～3月の Lden日最大値
苫小牧市	植苗会館局	47 ～ 51	59
	丹治沼局	54 ～ 56	63
	琥珀荘局	48 ～ 53	58
	沼ノ端東局	48 ～ 52	58
	沼ノ端局	47 ～ 52	59
	糸井	34 ～ 44	45 ※
北海道	植苗局	51 ～ 54	61
	ウトナイ局	47 ～ 55	60
	美沢局	40 ～ 46	56
	湖畔局	51 ～ 56	62
	斉藤宅局	40 ～ 45	54
	植苗公園局	49 ～ 54	60
	勇払局	41 ～ 47	61
	沼ノ端東雲局	50 ～ 54	60
	勇払東局	41 ～ 45	57

- ※・訓練期間中のLden値は評価時間に達していないため、環境基準の評価は適用できません。  
 ・糸井局はR2年4月から正式稼働のため、Lden日最大値はR2年4～7月の結果を引用。

## 評 価

### ○騒音測定結果について

苫小牧市、北海道の常時測定局 15 局における測定値については、令和元年度の当該局の最高値と比較して、全て下回っていました。

(糸井局の最高値は、本格運用開始後の R2.4～R2.7 の結果を用いて比較しております。)

#### ※ 臨時測定点を含めた全局における最高値

- ・米 軍 機(嘉手納)F-15  
清流公園(国臨時) : 88.2dB(8月21日 午後飛来による着陸時)
- ・米 軍 機(三 沢)F-16  
植苗公園(道常時) : 81.8dB(8月25日 午前訓練離陸時)
- ・自衛隊機 F-15  
植苗南町内会集会所(国臨時) : 87.1dB(8月24日 午前訓練離陸時)

### ○Lden について

苫小牧市、北海道の常時測定局 15 局における日 Lden 値については、令和元年度の日最大値と比較して、全て下回っていました。

(糸井局の最 Lden については、本格運用開始後の R2.4～R2.7 の結果を用いて比較しております。)

今回の訓練移転における騒音については、測定値及び日 Lden 値から、第 2 航空団が行っている通常訓練の範囲内でありました。



## ◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
18	計画	タイプI(1回につき1~5機の米軍機が1日~7日間参加):1回程度					H19.1.11通知、3月を目途にとし 回数不明記はないが1回と思われる	
	築城	H19.3.5(月)~3.8(木)	F15×4機 54人	I	嘉手納	道の 連絡会議		
	計	築城:1回		I:1回	嘉手納:1回	1基地派遣		
19	計画	タイプI(1回につき1~5機の米軍機が1日~7日間参加):1.2回程度 タイプII(1回につき6~12機の米軍機が8日~14日間参加):3回程度					H19.1.31通知	
	小松	H19.5.16(水)~5.23(水)	F15×5機 約80人	I	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行われていない。	
	築城	H19.6.18(月)~6.22(金)	FA18×5機 39人	I	岩国	無		
	三沢	H19.7.16(月)~7.21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	I	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行われていない	
	新田原	H19.9.3(月)~9.5(水)	F15×2機 14人	I	嘉手納	2名派遣		
	百里	H19.10.15(月)~10.19(金)	F16×5機 77人	I	三沢	2名派遣		
	小松	H19.11.5(月)~11.16(金)	F15×12機 約180人	II	嘉手納	無	F15事故調査のため中止	
	百里	H20.1.15(火)~1.18(金)	F16×5機 85人	I	三沢	無		
	新田原	H20.2.12(火)~2.15(金)	FA18×2機 4人	I	岩国	無		
	千歳	H20.2.25(月)~2.28(木)	FA18×4機 13人	I	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:2回 新田原:2回 計:8回		I:8回 II:0回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:3回	5基地派遣			
20	計画	タイプI(1回につき1~5機の米軍機が1日~7日間参加): タイプII(1回につき6~12機の米軍機が8日~14日間参加):併せて1.0回程度					H20.6.20通知	
	三沢	H20.7.23(水)~7.30(水)	F15×6機 約80人	II	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行われていない。	
	新田原	H20.9.2(火)~9.4(木)	F15×2機 18人	I	嘉手納	無		
	小松	H20.12.1(月)~12.5(金)	F16×6機 約80人	II	三沢	無		
	千歳	H20.12.8(月)~12.12(金)	F15×5機 72人	I	嘉手納	2名派遣		
	新田原	H21.2.23(月)~2.27(金)	F15×5機 81人	I	嘉手納	無		
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:2回 計:5回		I:3回 II:2回	三沢:1回 岩国:0回 嘉手納:4回	2基地派遣			
21	計画	タイプI(1回につき1~5機の米軍機が1日~7日間参加):1.2回程度 タイプII(1回につき6~12機の米軍機が8日~14日間参加):3回程度					H21.1.28通知	
	千歳	H21.4.20(月)~4.23(木)	FA18×5機 32人	I	岩国	2名派遣		
	三沢	H21.7.25(土)~8.1(土)	FA18×7機 約70人	II	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行われていない。	
	百里	H21.10.2(金)~10.9(金)	F15×5機 83人	I	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は全て中止。テスト飛行1回のみ。	
	小松	H21.11.14(土)~11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	II	①岩国 ②三沢	無	11/14・15の土日の訓練は行われていない。	
	百里	H22.1.29(金)~2.5(金)	F15×6機 87人	II	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行われていない。	
	三沢	H22.2.27(土)~3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	II	岩国	無	2/27・28,3/6・7の土日の訓練は行われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加	
	築城	H22.3.5(金)~3.12(金)	F16×5機 約90人	I	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行われていない。	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:2回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 計:6回		I:2回 II:4回	三沢:2回 岩国:4回 嘉手納:1回	1基地派遣			
22	計画	タイプI(1回につき1~5機の米軍機が1日~7日間参加) タイプII(1回につき6~12機の米軍機が8日~14日間参加)タイプI・IIあわせて1.5回程度					H22.1.29通知	
	小松	H22.6.5(土)~6.18(金)	FA18×10機 約180人	II	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行われていない。	
	三沢	H22.10.15(金)~10.23(土)	FA18×9機 約150人 (計画:10機 約160人)	II	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加 土日の訓練は行われていない。	
	千歳	H22.11.8(月)~11.19(金)	F15×12機 約170人 (計画:12機 約190人)	II	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加。 土日の訓練は行われていない。	
	小松	H22.12.1(水)~12.11(土)	F16×12機 約200人	II	三沢	無	日米共同統合演習の一部として実施されたため土日の訓練有り。	
計	千歳:1回 小松:2回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 計:4回		I:0回 II:4回	三沢:1回 岩国:2回 嘉手納:1回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
23	計画	下半年に5回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を2～3回程度を目標に計画予定					H23.10.4通知	
	築城	H23.7.8(金)～7.15(金)	F16×6機 約90人	II	三沢	無	7/9・10の土日の訓練は行われていない。	
	グアム	H23.10.10(月)～10.31(月) (実績:H23.10.10～10.28)	FA18×20機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった2週間以上の訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H23.12.1(木)～12.18(日) (実績:H23.12.5～12.19)	FA18×20機 約650人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.2.6(月)～2.24(金)	F15×18機 約500人	グアム	嘉手納	無		
	百里	H24.2.13(月)～2.24(金)	FA18×6機 AV-8B×3機 約90人	II	岩国	無		
計	千歳:0回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:5回		I:0回 II:2回 グアム:3回	三沢:1回 岩国:3回 嘉手納:1回	派遣無し			
24	計画	10回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を5回程度を目標に計画予定					H24.3.22通知	
	グアム	H24.5.14(月)～6.8(金)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	千歳	H24.9.5(水)～9.7(金)	FA18×4機 約20人	I	岩国	2名派遣		
	グアム	H24.9.27(木)～10.25(木)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.11.29(木)～12.18(火)	FA18×20機 MV-22×4機 約880人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	新田原	H25.1.14(月)～1.18(金)	FA18×6機 約90人	II	岩国	無		
	グアム	H25.1.21(月)～1.30(水)	F16×14機 約190人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:1回 岩国:5回 嘉手納:1回	1基地派遣			
25	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H25.3.27通知	
	新田原	H25.6.17(月)～6.21(金)	FA18×8機 約120人	II	岩国	無	台風接近のため17～19日で終了	
	千歳	H25.7.8(月)～7.12(金)	F16×6機 約80人	II	三沢	1名派遣		
	グアム	H25.7.10(水)～8.2(金)	FA18×20機 約550人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.8.12(月)～8.23(金)	F15×18機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場の訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.10.28(月)～11.8(金)	F16×14機 約190人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	FA18×20機 MV-22×4機 約1,120人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	F15×14機 FA18×6機 約290人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小松	H25.12.7(土)～12.14(土)	F15×6機 約90人	II	嘉手納	無	悪天候のため9日、11日のみ実施	
	計	千歳:1回 小松:1回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:7回 計:10回		I:0回 II:3回 グアム:7回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:4回	1基地派遣		

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
26	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H26.3.28通知	
	三 沢	H26.6.12(木)～6.24(火)	FA18×10機 約180人	II	岩国	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練及び空対地射撃訓練に参加。	
	グアム	H26.6.19(木)～7.10(木)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.9.5(金)～9.26(金)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.9.15(月)～10.7(火)	FA18×16機 MV22×4機 約1,140人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H26.10.18(土)～10.31(金)	F15×12機 約200人	II	嘉手納	無		
	小 松	H26.11.7(金)～11.20(木)	F16×8機 約140人	II	三沢	無		
	グアム	H26.12.3(水)～12.19(金)	F15×18機 約400人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.2.2(月)～2.28(金)	F16×14機 約400人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.2.9(月)～2.28(金)	F15×18機 約410人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	百 里	H27.3.9(月)～3.21(土)	FA18×5機 約60人	II	岩国	無		
計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:10回		I:0回 II:4回 グアム:6回	三沢:2回 岩国:3回 嘉手納:5回	派遣無し			
27	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H27.3.25通知	
	グアム	H27.7.13(月)～8.7(金)	FA18×10機 約240人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.8.17(月)～9.4(金)	FA18×10機 約260人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	築 城	H27.8.21(金)～9.3(木)	F15×12機 約190人	II	嘉手納	無		
	百 里	H27.9.7(月)～9.18(金)	FA-18×5機 約80人	II	岩国	無		
	グアム	H27.9.11(金)～10.8(木)	FA-18×10機 EA-18×5機 約440人	グアム	岩国 三沢	無	岩国飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	三 沢	H27.12.1(火)～12.18(金)	F-15×12機 約300人	II	嘉手納	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練に参加。	
	グアム	H27.12.2(水)～12.18(金)	FA-18×10機 EA-6B×5機 約420人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H27.12.8(火)～12.11(金)	F-15×4機 約50人	I	嘉手納	無		
	千 歳	H28.1.12(火)～1.22(金)	FA-18×5機 約70人	II	岩国	1名派遣		
	グアム	H28.2.1(月)～2.28(日)	F-16×14機 約280人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H28.2.7(日)～2.28(日)	F-15×18機 約460人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小 松	H28.3.7(月)～3.18(金)	FA-18×6機 約70人	II	岩国	無		
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:12回		I:1回 II:5回 グアム:6回	三沢:2回 岩国:7回 嘉手納:4回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
28	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H28. 4. 4通知	
	グアム	H28. 7. 19(火)～8. 12(金)	EA-18G×5機 約190人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等への移転	
	小 松	H28. 7. 25(月)～7. 29(金)	F-15×5機 約90人	I	嘉手納	無		
	グアム	H28. 9. 8(木)～9. 23(金)	F-15×5機 EA-18G×5機 約400人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H28. 9. 8(木)～9. 27(火)	F-15×12機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	千 歳	H28. 12. 5(月)～12. 16(金)	AV-8B×4機 約90人	II	岩国	1名派遣		
	グアム	H29. 2. 15(水)～3. 3(金)	F-15×12機 FA-18×8機 約700人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場及び岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H29. 2. 15(水)～3. 3(金)	F-16×14機 EA-18×6機 約440人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:3回 岩国:2回 嘉手納:4回	1基地派遣			
29	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H29. 3. 29通知	
	グアム	H29. 4. 20(木)～5. 8(月)	F-15×14機 約270人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	三沢	H29. 7. 7(金)～7. 14(金)	F-15×6機 約160人	II	嘉手納	無		
	百里	H29. 7. 7(金)～7. 21(金)	FA-18×6機 約140人	II	岩国	無		
	築城	H29. 9. 30(土)～10. 7(土)	F-16×6機 約100人	II	三沢	無		
	新田原	H30. 1. 19(金)～1. 26(金)	F-15×6機 約140人	II	嘉手納	無	米軍の運用上の都合(火山活動が飛行の安全に影響を及ぼす可能性があるため)中止	
	百里	H30. 1. 22(月)～1. 26(金)	F-16×5機 約100人	I	三沢	無	米軍の運用上の都合(米政府の予算措置の関係上)により中止	
	グアム	H30. 2. 8(木)～3. 6(火)	F-15×12機 FA-18×8機 約660人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H30. 2. 12(月)～3. 9(金)	F-16×14機 約300人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
計	千歳:0回 小松:0回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:6回		I:0回 II:3回 グアム:3回	三沢:2回 岩国:2回 嘉手納:3回	派遣無し			
30	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H30. 3. 16通知	
	百里	H30. 4. 6(金)～4. 12(木)	FA-18×5機 約60人	I	岩国	無		
	千歳	H30. 4. 23(月)～4. 27(金)	F-16×6機 約100人	II	三沢	1名派遣		
	三沢	H30. 5. 9(水)～5. 24(木)	F-35×8機 約140人	II	岩国	無		
	小松	H30. 7. 16(月)～7. 20(金)	F-15×6機 約120人	II	嘉手納	無		
	グアム	H30. 9. 4(火)～9. 30(日)	F-15×12機 EA-18×5機 約500人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H30. 9. 4(火)～9. 30(日)	FA-18×10機 F-35×8機 約960人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H30. 9. 10(月)～9. 21(金)	F-15×12機 約290人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	新田原	H30. 10. 27(土)～11. 8(木)	F-15×8機 約140人	II	嘉手納	無		
	築城	H30. 11. 5(月)～11. 8(木)	F-16×6機 約80人	II	三沢	無		
	グアム	H31. 2. 11(月)～3. 7(木)	F-16×14機 約310人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H31. 2. 13(水)～3. 12(火)	F-15×12機 FA-18×10機 約670人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H31. 3. 11(月)～3. 29(金)	FA-18×17機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:12回		I:1回 II:5回 グアム:6回	三沢:4回 岩国:5回 嘉手納:5回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
令和元年度	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H31.3.25通知	
	グアム	H31.4.22(月)～4.27(土)	F-15×6機 F-16×6機 約270人	グアム	嘉手納三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	R1.6.3(月)～6.28(金)	FA-18×10機 約200人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	小松	R1.10.1(火)～10.4(金)	F-16×6機 約100人	II	三沢	無		
	三沢	R1.10.10(木)～11.4(月)	FA-18×12機 約170人	II	岩国	無	土日祝並びに10/10、11、28日は訓練は行われていない。	
	グアム	R2.1.27(月)～2.6(木)	F-15×12機 約210人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	R2.1.31(金)～3.6(金)	F-16×14機 EA-18×5機 約430人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週4日実施	
	グアム	R2.2.4(火)～3.11(水)	F-15×12機 FA-18×10機 E-3×2機 KC-135×2機 約680人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週4日実施	
	グアム	R2.3.2(月)～3.26(木)	FA-18×16機、EA-18×3機 E-2D×4機 約510人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週5日実施	
	グアム	R2.3.6(金)～3.31(火)	FA-18×16機、EA-18×3機 約430人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週5日実施	
	計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:7回 計:9回		I:0回 II:2回 グアム:7回	三沢:3回 岩国:5回 嘉手納:3回	派遣無し		
2年度	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R2.3.30通知	
	千歳	R2.8.24(月)～8.28(金)	F-15×6機 F-16×6機 約200人	II	嘉手納三沢	1名派遣		
	新田原	R2.10.26(月)～11.5(木)	F-15×12機 約200人	II	嘉手納			
	計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:0回 計:2回		I:0回 II:2回 グアム:0回	三沢:1回 岩国:0回 嘉手納:2回	1名派遣		



(お知らせ)

令和2年10月16日  
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転に関する  
訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は108回目（国内59回、グアム等49回）となり、国内への訓練移転は、平成18年5月の再編の実施のための日米ロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するために行われるものです。

- 期 間：令和2年10月26日（月）～11月5日（木）
- 参 加 部 隊：〔米軍〕  
第18航空団（嘉手納）  
〔航空自衛隊〕  
第5航空団（新田原）
- 使 用 基 地：新田原基地
- 演 練 項 目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：四国沖空域
- 参 加 規 模：タイプⅡ  
〔米軍〕  
F-15×12機程度、人員200名程度  
※人員、物資輸送のため輸送機が期間の前後に飛来する予定  
〔航空自衛隊〕  
F-15×15機程度
- そ の 他：今回の訓練に際し、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として以下の取り組みを実施する予定です。
  - ・米軍訓練参加者は日本に居住しており、全員がPCR検査を受診の上、陰性が確認された者のみが参加。
  - ・米側は米軍内の新型コロナウイルス感染症にかかる対策指針に従うこと、また感染防止対策としてマスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、消毒の徹底など必要な措置を実施。

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

米軍再編に係る訓練移転に関する沖縄県の負担軽減調査結果

照 会 項 目		沖 縄 市	嘉 手 納 町	北 谷 町
(1) 令和元年度の環境基準超過日数を教えてください。	30年度 (前回)	市内の5ヶ所の測定局  230 日	町内の4ヶ所の測定局  584 日	町内の5ヶ所の測定局  227 日
	元年度 (今回)	市内の5ヶ所の測定局  205 日	町内の4ヶ所の測定局  527 日	町内の5ヶ所の測定局  212 日
2 カ 年 度 の 比 較		-25 日	-57 日	-15 日
(2) 令和元年度に嘉手納基地へ飛来した外来機の機数につきまして、把握されておりましたら教えてください。		沖縄防衛局の情報で把握している。	沖縄防衛局からの情報提供、新聞報道等に基づいて作成している。 戦闘機等の大量飛来は77機。 ※4機以上でカウント	本町では、北谷町、嘉手納町、沖縄市で構成する嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会（三連協）による嘉手納飛行場の飛行経路目視調査を年に数回実施し、同飛行場所属戦闘機等の飛行経路に関する実態把握に努めております。 しかしながら、特定の訓練以外は事前通告もなく頻繁に外来機が飛来しており、外来機の機数については把握が困難な状況ですので、本町で確認できている分の嘉手納基地への外来機の飛来機数について提供いたします。(126機) また、沖縄防衛局は嘉手納飛行場における有人による航空機運用実態目視調査を24時間行っており、常駐機・外来機の機種や離着陸等回数を調査し、毎月嘉手納飛行場周辺の自治体（北谷町、嘉手納町、沖縄市）へ提供しております。
(3) 令和元年度の訓練移転実施により、貴市（町）への負担が軽減されたとお考えですか。		各航空機騒音測定局における環境基準値の超過日数の合計が平成27～30年度における平均249日に対し、令和元年度は205日と17.6%減少しています。 また、航空機騒音等に関する苦情件数が、平成27～30年度における平均208.25件に対し、令和元年度は121件と41.8%減少しています。 一方で、外来機の飛来や暫定配備による訓練が実施された場合、航空機騒音等に関する苦情件数は増加する傾向にあり、常駐機の訓練移転による負担軽減がなかなか実感できない状況があります。	令和元年度の訓練移転実施期間中の負担軽減については、1日平均Lden及び騒音発生回数が増加するなど、一定の効果が見られました。 しかしながら、環境基準超過日数を見ると嘉手納局で191日、屋良局で150日と依然として大きな負担を強いられているのが現状です。 本町は、訓練移転をはじめとしたあらゆる負担軽減策を実施していただくよう、政府及び関係機関に対し要請を行っています。	令和元年度における在日米軍再編に係る嘉手納飛行場から他基地への訓練移転は3回実施され、北谷町内に設置されている航空機騒音測定局の環境基準値の超過日数については、平成30年度と比較しますと上勢局、桑江局が増加、宮城局、砂辺局、北玉局が減少しております。 しかし、嘉手納飛行場の滑走路の延長線上に位置し県内の中でも航空機騒音被害が大きい砂辺地域において、令和元年度の環境基準値による超過日数(Lden)は、平成30年度と比較すると11日減少しているものの152日も環境基準を超過しております。 また、令和元年度に住民から寄せられた嘉手納基地から派生したと思われる航空機騒音等に関する苦情は106件で、平成30年度の195件より減少しましたが、依然として騒音被害は軽減されていないと考えております。

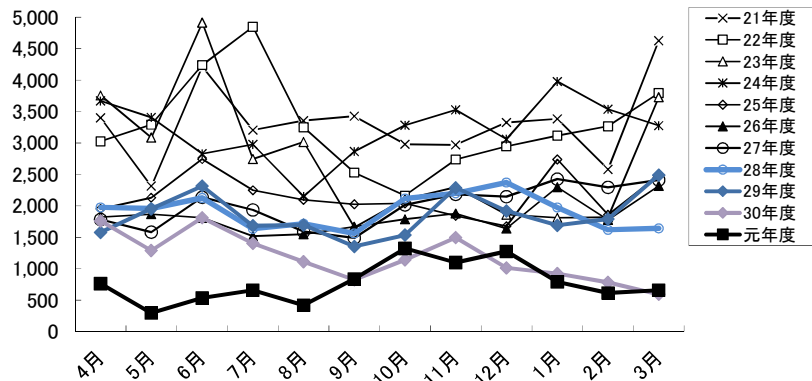
# 嘉手納飛行場周辺地域騒音測定結果

## 嘉手納町 測定局名：屋良（やら）

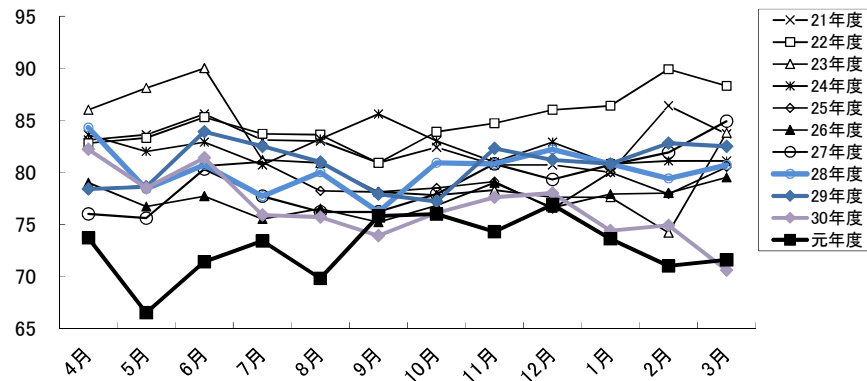
観測回数	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
4月	3,399	3,028	3,757	3,667	1,951	1,820	1,785	1,975	1,578	1,760	762
5月	2,313	3,292	3,086	3,408	2,129	1,868	1,581	1,960	1,951	1,290	296
6月	4,217	4,241	4,915	2,827	2,744	1,811	2,138	2,127	2,314	1,811	533
7月	3,206	4,846	2,746	2,977	2,249	1,518	1,934	1,635	1,682	1,405	658
8月	3,357	3,250	3,017	2,151	2,095	1,550	1,591	1,718	1,695	1,111	419
9月	3,427	2,528	1,660	2,866	2,027	1,668	1,489	1,562	1,354	824	836
10月	2,979	2,164	2,107	3,281	2,040	1,787	2,016	2,118	1,535	1,142	1,323
11月	2,971	2,738	2,298	3,526	1,841	1,879	2,183	2,200	2,287	1,496	1,100
12月	3,327	2,945	1,862	3,060	1,676	1,641	2,147	2,371	1,917	1,016	1,277
1月	3,383	3,116	1,810	3,979	2,739	2,298	2,427	1,977	1,691	923	792
2月	2,579	3,264	1,816	3,536	1,859	1,776	2,294	1,619	1,790	783	615
3月	4,627	3,792	3,729	3,276	2,482	2,318	2,411	1,644	2,490	594	660

WECPNL	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
4月	83.1	82.8	86.0	83.6	78.4	79.0	76.0	84.3	78.4	82.2	73.7
5月	83.6	83.3	88.1	82.0	78.7	76.7	75.6	78.4	78.6	78.5	66.5
6月	85.6	85.3	90.0	82.9	80.6	77.7	80.3	80.7	83.9	81.4	71.4
7月	83.1	83.7	81.2	80.7	81.0	75.5	77.7	77.7	82.5	75.9	73.4
8月	83.0	83.6	80.9	83.2	78.2	76.5	76.2	80.0	81.0	75.7	69.8
9月	80.9	80.9	78.1	85.6	78.1	75.2	76.2	76.2	77.9	73.9	75.8
10月	82.4	83.9	77.8	83.0	78.5	76.8	77.9	80.9	77.2	76.1	76.0
11月	80.7	84.7	78.3	81.0	79.1	79.0	80.8	80.8	82.3	77.6	74.3
12月	80.7	86.0	77.6	82.9	76.5	76.6	79.3	82.2	81.2	78.0	76.9
1月	80.0	86.4	77.6	80.8	80.0	77.9	80.7	80.8	80.8	74.4	73.6
2月	86.4	89.9	74.2	81.1	77.9	78.0	81.9	79.4	82.8	74.9	71.0
3月	83.7	88.3	83.8	81.1	80.5	79.5	84.9	80.7	82.5	70.6	71.6

観測回数



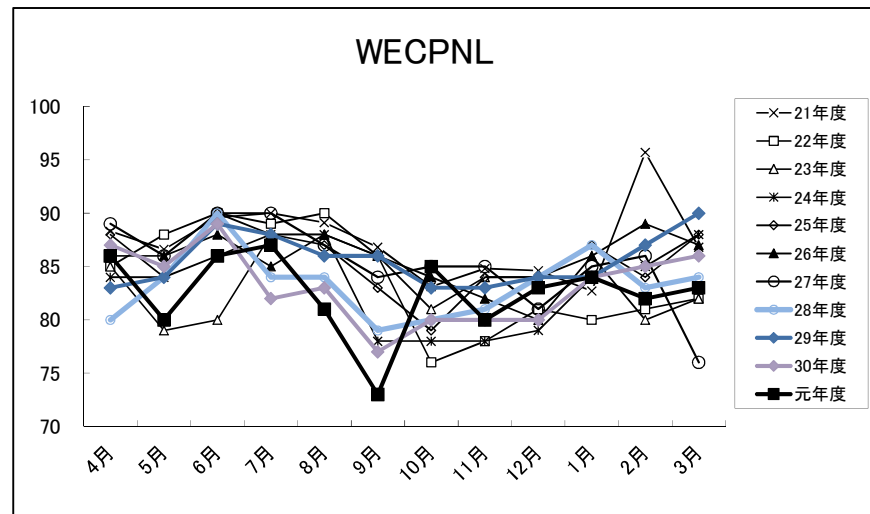
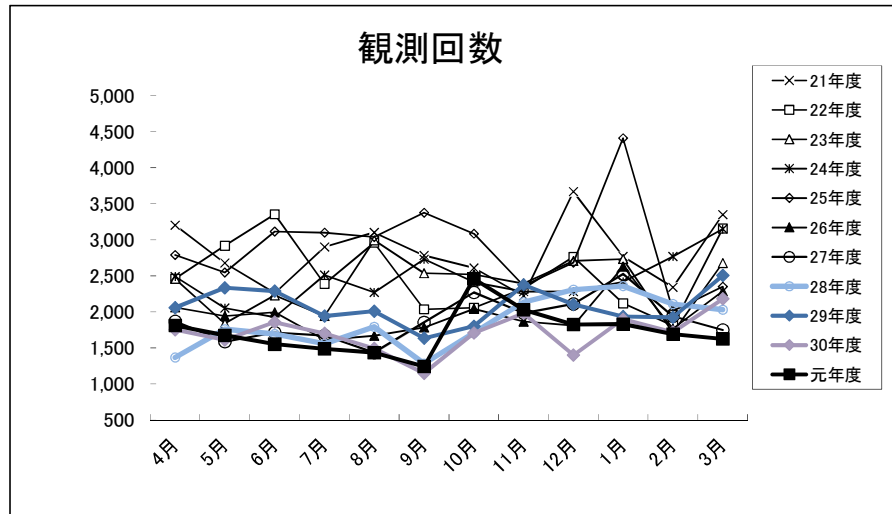
WECPNL



# 北谷町 測定局名：砂辺（すなべ）

観測回数	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
4月	3,201	2,461	2,461	2,491	2,788	2,062	1,870	1,368	2,060	1,752	1,811
5月	2,679	2,918	1,839	2,052	2,547	1,941	1,588	1,759	2,335	1,611	1,676
6月	2,262	3,355	2,228	1,927	3,114	1,996	1,713	1,692	2,288	1,856	1,553
7月	2,900	2,386	1,942	2,510	3,100	1,612	1,672	1,557	1,942	1,701	1,487
8月	3,103	2,959	2,995	2,269	3,038	1,669	1,436	1,794	2,010	1,494	1,435
9月	2,783	2,036	2,537	2,729	3,374	1,784	1,853	1,282	1,634	1,148	1,244
10月	2,609	2,057	2,518	2,410	3,085	2,042	2,271	1,709	1,802	1,707	2,459
11月	2,222	2,324	2,393	2,282	2,365	1,866	1,983	2,135	2,376	1,980	2,030
12月	3,667	2,762	2,708	2,281	2,683	1,809	2,109	2,307	2,103	1,400	1,824
1月	2,768	2,119	2,734	2,416	4,410	2,629	2,526	2,357	1,936	1,897	1,831
2月	2,342	1,807	1,711	2,769	2,014	1,765	1,939	2,109	1,925	1,719	1,694
3月	3,349	3,158	2,677	3,149	2,348	2,285	1,749	2,030	2,504	2,181	1,626

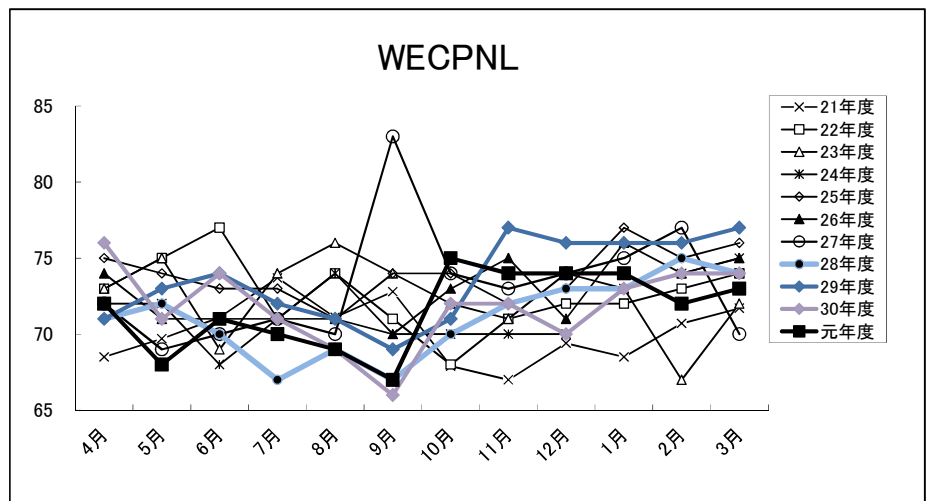
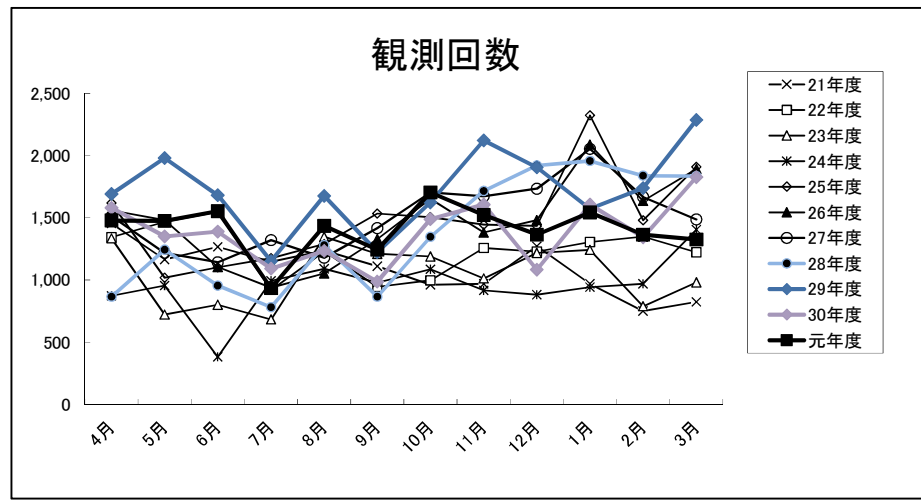
WECPNL	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
4月	88.3	85.0	85.0	84.0	88.0	86.0	89.0	80.0	83.0	87.0	86.0
5月	86.6	88.0	79.0	84.0	84.0	86.0	86.0	84.0	84.0	85.0	80.0
6月	89.6	90.0	80.0	86.0	90.0	88.0	90.0	90.0	89.0	89.0	86.0
7月	90.0	89.0	88.0	88.0	88.0	85.0	90.0	84.0	88.0	82.0	87.0
8月	89.1	90.0	88.0	88.0	87.0	88.0	87.0	84.0	86.0	83.0	81.0
9月	86.8	86.0	86.0	78.0	83.0	86.0	84.0	79.0	86.0	77.0	73.0
10月	83.1	76.0	81.0	78.0	79.0	84.0	85.0	80.0	83.0	80.0	85.0
11月	84.8	78.0	84.0	78.0	84.0	82.0	85.0	81.0	83.0	80.0	80.0
12月	84.6	81.0	84.0	79.0	84.0	80.0	81.0	84.0	84.0	80.0	83.0
1月	82.7	80.0	86.0	84.0	87.0	86.0	85.0	87.0	84.0	84.0	84.0
2月	95.7	81.0	80.0	85.0	84.0	89.0	86.0	83.0	87.0	85.0	82.0
3月	86.8	82.0	82.0	88.0	88.0	87.0	76.0	84.0	90.0	86.0	83.0



# 沖縄市 測定局名：知花（ちばな）

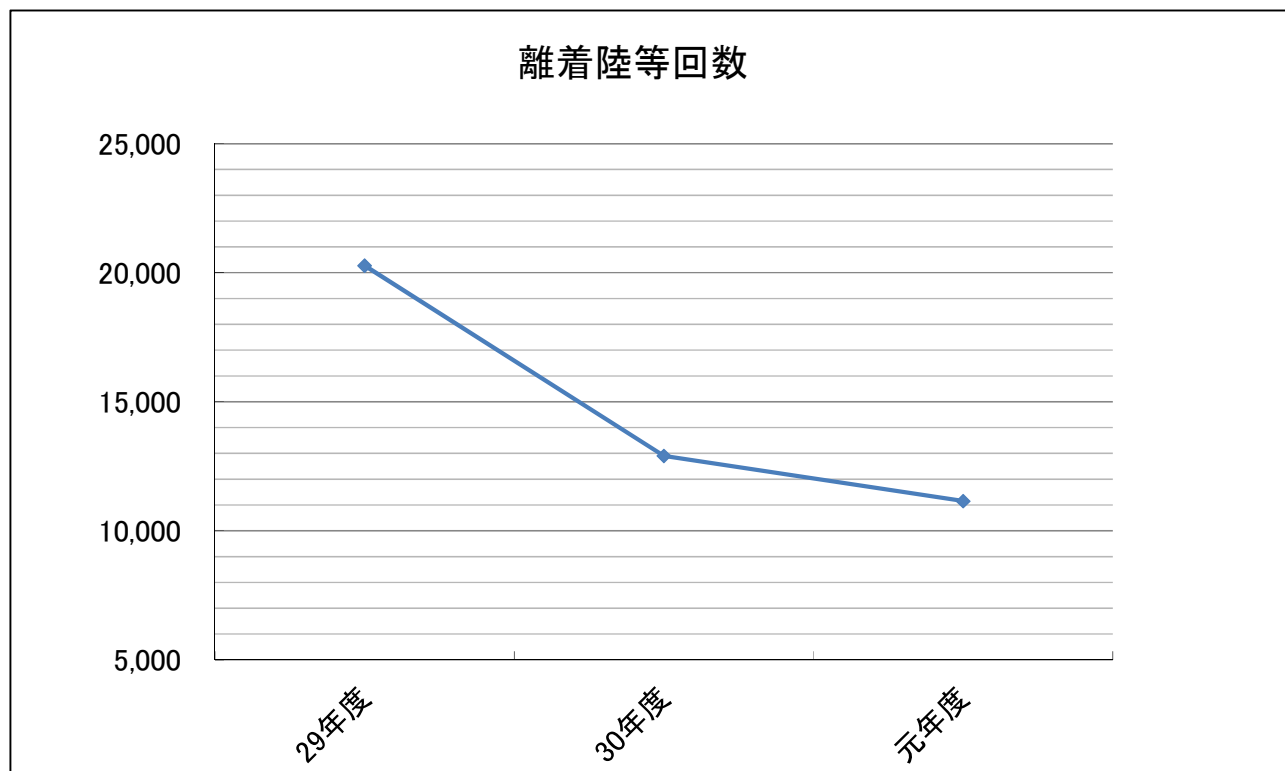
観測回数	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
4月	1,455	1,344	1,334	873	1,618	1,561	1,512	865	1,691	1,579	1,478
5月	1,164	1,467	723	955	1,018	1,481	1,217	1,244	1,980	1,350	1,475
6月	1,266	1,548	801	382	1,102	1,103	1,142	955	1,681	1,388	1,553
7月	1,147	919	683	993	1,176	938	1,321	782	1,151	1,091	934
8月	1,236	1,230	1,347	1,089	1,289	1,052	1,178	1,280	1,675	1,235	1,435
9月	1,111	944	1,210	978	1,534	1,329	1,417	866	1,225	986	1,244
10月	961	997	1,190	1,086	1,504	1,652	1,703	1,346	1,623	1,489	1,704
11月	968	1,257	1,012	916	1,444	1,382	1,673	1,716	2,122	1,605	1,522
12月	1,272	1,227	1,218	882	1,434	1,481	1,734	1,921	1,905	1,083	1,365
1月	968	1,304	1,242	943	2,322	2,089	2,054	1,957	1,573	1,606	1,542
2月	750	1,348	788	968	1,480	1,636	1,667	1,839	1,739	1,344	1,364
3月	824	1,223	981	1,404	1,908	1,892	1,487	1,834	2,286	1,826	1,326

WECPNL	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
4月	68.5	73.0	73.0	72.0	75.0	74.0	72.0	71.0	71.0	76.0	72.0
5月	69.7	75.0	75.0	72.0	74.0	71.0	69.0	72.0	73.0	71.0	68.0
6月	71.1	77.0	69.0	68.0	73.0	71.0	70.0	70.0	74.0	74.0	71.0
7月	73.7	71.0	74.0	71.0	73.0	71.0	71.0	67.0	72.0	71.0	70.0
8月	71.1	74.0	76.0	74.0	71.0	71.0	70.0	69.0	71.0	69.0	69.0
9月	72.8	71.0	74.0	70.0	74.0	70.0	83.0	67.0	69.0	66.0	67.0
10月	67.9	68.0	72.0	70.0	74.0	73.0	74.0	70.0	71.0	72.0	75.0
11月	67.0	71.0	71.0	70.0	72.0	75.0	73.0	72.0	77.0	72.0	74.0
12月	69.4	72.0	74.0	70.0	73.0	71.0	74.0	73.0	76.0	70.0	74.0
1月	68.5	72.0	73.0	73.0	77.0	76.0	75.0	73.0	76.0	73.0	74.0
2月	70.7	73.0	67.0	74.0	75.0	74.0	77.0	75.0	76.0	74.0	72.0
3月	71.7	74.0	72.0	75.0	76.0	75.0	70.0	74.0	77.0	74.0	73.0



## 嘉手納飛行場における外来機の離着陸等状況

回数	29年度	30年度	元年度
4月	1,455	1,423	848
5月	1,531	1,006	977
6月	1,745	1,717	721
7月	1,823	1,043	753
8月	1,336	1,102	970
9月	1,209	664	838
10月	1,275	866	1,622
11月	2,037	1,035	1,041
12月	1,768	679	983
1月	1,468	1,028	850
2月	1,793	1,120	830
3月	2,841	1,220	722
合計	20,281	12,903	11,155



※離着陸等を行った回数については、沖縄防衛局が目視により把握したものを集計。

※離着陸等とは、離陸、着陸、タッチ・アンド・ゴー、通過、旋回を指す。



(お知らせ)

令和2年10月23日  
千 歳 基 地

令和2年度（上期）航空機の部品落下事案について

標記について、令和2年4月から9月までの部品落下事案を付紙のとおりお知らせします。

添付書類：付紙「令和2年度（上期）千歳基地航空機の部品落下一覧表」

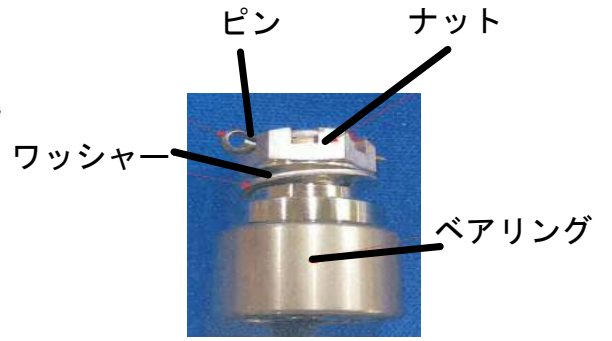
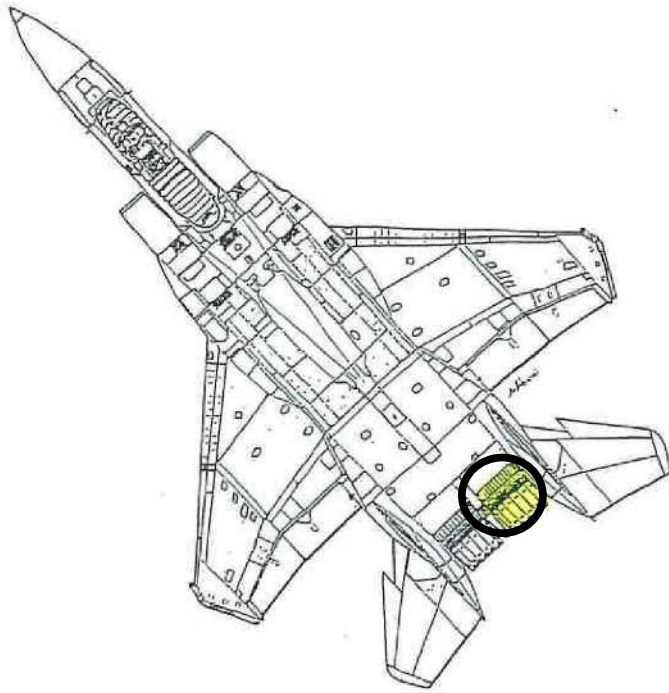


## 令和2年度（上期）千歳基地航空機の部品落下一覧表

番号	発生日	機種	落下部品	
			部位等	大きさ・形状
1	R2. 6. 23	F-15J	右エンジンノズルの部品 ・ピン×1 ・ナット×1 ・ワッシャー×1 ・カムフォロワーローラーベアリング×1 ・コネクティングリンクオクメンターターイ ウァージェントノズルシールの一 部×1 ・コネクティングリンクオプションの一 部×1	(ピン) 長さ 約19.6mm 厚さ 約1.5mm 重さ 約0.3g (ナット) 直径 約12.7mm 厚さ 約4.9mm 重さ 約2.8g (ワッシャー) 直径 約14.4mm 厚さ 約0.8mm 重さ 約0.6g (カムフォロワーローラーベアリング) 直径 約19mm 高さ 約23.3mm 重さ 約28.6g (コネクティングリンクオクメンターターイ ウァージェントノズルシール) 長さ 約8mm 幅 約5mm 厚さ 約1mm 重さ 不明 (コネクティングリンクオプション) 直径 約9.5mm 高さ 約35mm 重さ 不明
2	R2. 8. 17	F-15J	クランプの一部×1	(クランプ) 長さ 約24mm 幅 約13.5mm 厚さ 約0.6mm 重さ 約1.3g

番号	発生日	機種	落下部品	
			部位等	大きさ・形状
3	R2. 8. 17	C1	サーマル・ディスチャージ・インジケータ × 1	(サーマル・ディスチャージ・インジケータ) 直径 約24.8mm 厚さ 約1.2mm 重さ 約0.9g
4	R2. 9. 2	C1	サーマル・ディスチャージ・インジケータ × 1	(サーマル・ディスチャージ・インジケータ) 直径 約24.8mm 厚さ 約1.2mm 重さ 約0.9g
5	R2. 9. 18	U-125A	左エンジンカウル・ラッチスプリングの一部 × 1	(左エンジンカウル・ラッチスプリング) 縦 約5mm 横 約3mm 重さ 約1g未満
6	R2. 9. 24	F-15J	SRMランチャー・アンビリカルフロック・クイックリリースピンのボール × 1	(SRMランチャー・アンビリカルフロック・クイックリリースピンのボール) 直径 約1mm 重さ 約0.5g

番号1 F-15J



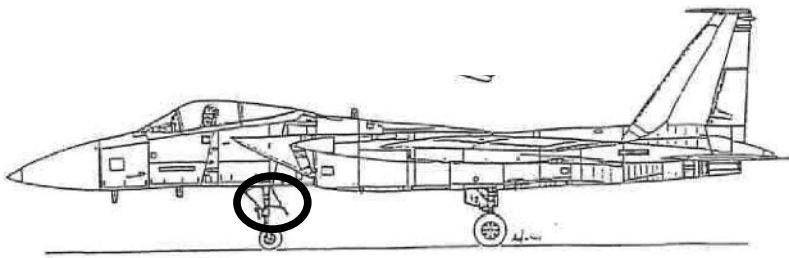
コネクティングリンク



コネクティングリンクオプション

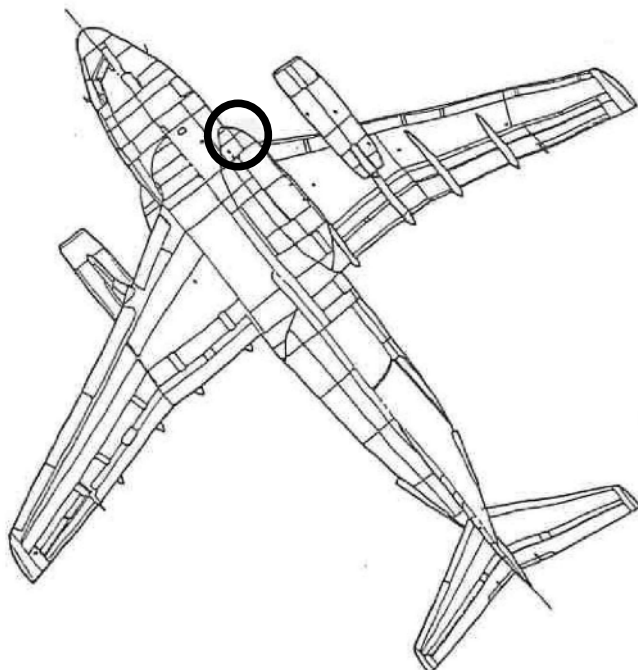


番号2 F-15J



クランプの一部

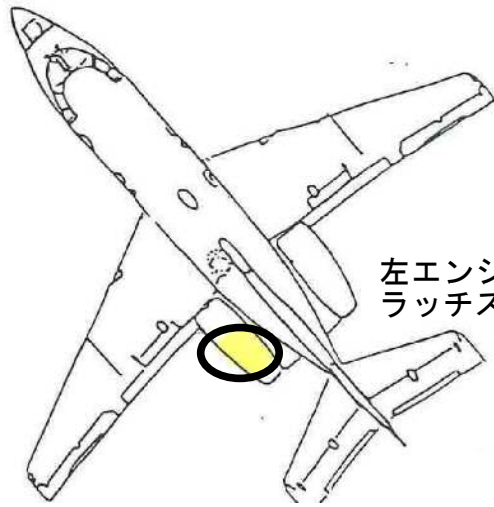
番号3、4 C-1



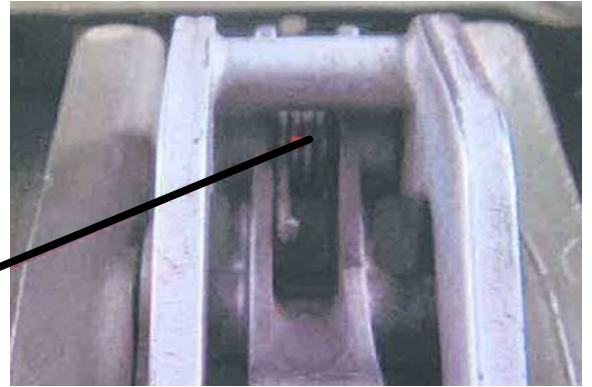
サーマル・ディスチャージ・インジケータ



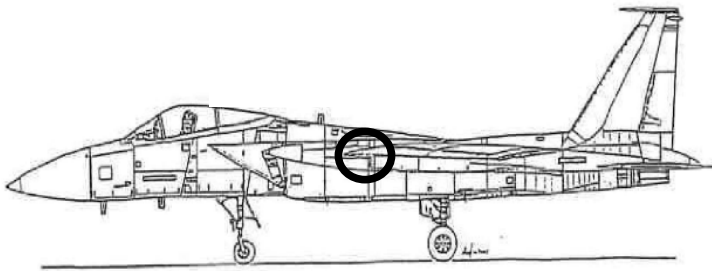
番号5 U-125A



左エンジンカウル・ラッチスプリングの一部



番号6 F-15J



SRMランチャー・アンビリカルブロック・クイックリリースピンのボール



令和2年11月18日  
航空自衛隊千歳基地

航空機の部品等落下について

標記について、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 確認日時  
令和2年11月18日(水) 07:00頃 飛行前点検時
- 2 発生場所  
千歳飛行場から日本海洋上の間
- 3 機種  
F-15J
- 4 落下部品
  - (1) 品名  
修理ストラップ(左エルロン下部)
  - (2) 大きさ  
長さ約60cm、幅約8cm、厚さ0.6mm
  - (3) 重さ  
約80g
  - (4) 材質  
チタン
- 5 その他  
細部は確認中(部外への影響は確認されていない)

お問い合わせ先  
航空自衛隊千歳基地監理部  
担当：高橋、小林  
0123-23-3101  
(内線2214)

令和 2 年度  
苫小牧市航空機騒音対策協議会  
要 望 活 動 報 告 書

令和 2 年 1 0 月 1 9 日

- 1 日 程 令和2年10月19日(月) 千歳・札幌  
詳細は別紙1のとおり  
※東京は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面对応。
- 2 要望活動者 苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会 長 丹羽 秀則  
副 会 長 星野 邦夫  
事務局長 木村 淳  
事務局員 柴田健太郎  
事務局員 伊藤 貴文  
事務局員 蠣崎 絵美
- 3 要望活動  
(1) 要望先及び要望書宛先 別紙2のとおり  
(2) 要望先対応者 別紙3のとおり  
(3) 要望書 別紙のとおり  
(4) 回答要旨 別紙4～6のとおり
- 4 要望活動の主な質問に対する回答要旨  
別紙7のとおり

令和2年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望活動日程

10月19日(月)

(千歳・札幌) 10:30 国土交通省 東京航空局 新千歳空港事務所  
及び北海道エアポート(株)

11:30 航空自衛隊 千歳基地

13:30 北海道防衛局

\*\*\*\*\*

書面による東京要望

- ① 地元選出議員(堀井学衆議院議員、山岡達丸衆議院議員、橋本聖子参議院議員)  
10/12の週に、東京事務所へ郵送し、10/19、20に田山地所長から各議員へ。
- ② 国交省航空局及び国交省東京航空局  
10/19までに必着するよう直接郵送。
- ③ 防衛省及び航空幕僚監部  
10/19の札幌要望の際に、北海道防衛局に直接渡し、北海道防衛局から郵送。



## 令和2年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望活動

- 1 日 程 令和2年10月19日(月) 千歳・札幌 ※東京は書面による要望  
 2 要望活動者 丹羽秀則会長、星野邦夫副会長、事務局4名  
 3 要望先及び要望書宛先名

## ■国会議員(議員会館:千代田区永田町)

衆議院議員	堀 井 学 (国交省・防衛省分)
衆議院議員	山 岡 達 丸 (国交省・防衛省分)
参議院議員	橋 本 聖 子 (国交省・防衛省分)

## ■国土交通省

国土交通大臣	赤 羽 一 嘉
国土交通副大臣	岩 井 茂 樹
国土交通副大臣	大 西 英 男
国土交通大臣政務官	小 林 茂 樹
国土交通大臣政務官	朝 日 健太郎
国土交通大臣政務官	鳩 山 二 郎

## ◎航空局(千代田区霞が関2-1-3)

局 長	和 田 浩 一
航空ネットワーク部長	鶴 田 浩 久
航空ネットワーク部 空港業務課長	西 泉 彰 雄

## ◎東京航空局(千代田区九段南1-1-15)

局 長	吉 田 耕一郎
次 長	宮 藤 三 雄
総務部長	三 浦 繁 也
空港部長	勝 谷 一 則
保安部長	今 村 純
安全管理官	水 溜 雅 道
空港部次長	峯 村 義 明
総務部総務課長	片 山 英 之
総務部航空振興課長	長 堀 武 直
空港部管理課長	太 田 信 博
空港部環境・地域振興課長	田 中 勤
空港部空港企画調整課長	野 田 克 人
空港部土木建築課長	藤 原 達
保安部技術保安企画調整課長	鈴 木 実
保安部管制課長	北 村 達 哉
保安部管制技術課長	重 田 誠

## ◎東京航空局 新千歳空港事務所(千歳市美々)

空 港 長	山 田 修
-------	-------

## ◎北海道エアポート株式会社

代表取締役 社長	蒲 生 猛
----------	-------

■防衛省		騒音対策	防音
防衛大臣	岸 信 夫	○	○
防衛副大臣	中 山 泰 秀	○	○
防衛大臣政務官	大 西 宏 幸	○	○
防衛大臣政務官	松 川 る い	○	○
◎防衛政策局（新宿区市谷本村町5-1）			
防衛政策局長	岡 真 巨	○	
防衛政策課長	上 田 幸 司	○	
日米防衛協力課長	中 間 秀 彦	○	
運用政策課長	中 野 滋 明	○	
訓練課長	佐 藤 克 文	○	
◎地方協力局（新宿区市谷本村町5-1）			
地方協力局長	鈴 木 敦 夫	○	○
地方協力局次長	青 木 健 至	○	○
地方協力企画課長	品 川 高 浩	○	○
地方調整課長	宮 川 均	○	○
周辺環境整備課長	池 田 眞 人	○	○
防音対策課長	扇 谷 治	○	○
◎航空幕僚監部（新宿区市谷本村町5-1）			
航空幕僚長	井 筒 俊 司	○	
航空幕僚副長	阿 部 睦 晴	○	
総務部長	影 浦 誠 樹	○	
総務部 総務課 基地対策室長	田 中 信 隆	○	
運用支援・情報部長	稲 月 秀 正	○	
運用支援・情報部 運用支援課長	藤 田 輝 章	○	
◎航空自衛隊第2航空団（千歳市平和）			
千歳基地司令	徳 重 広為智	○	
◎北海道防衛局（札幌市中央区大通西1-2）			
局 長	末 永 広	○	○
次 長	本 田 光 徳	○	○
企画部長	諏 訪 匡 志	○	○
統括調整官	滝 川 和 志	○	○

## 令和2年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望先対応者

## 国土交通省

東京航空局 新千歳空港事務所	空港長	山田 修
〃	次長	土田 正典
〃	総務部長	橋本 三喜昭
〃	管制保安部長	谷内 寿
〃	総務課長	田上 博之
〃	運用調整課長	坂本 兼一
〃	総務課長補佐	三谷 大悟
北海道エアポート株式会社 地域共生部	部長	平池 暁
〃	課長	三村 行雄
〃	課員	西野 紫乃
〃 空港運用課	課員	佐藤 聡紀
〃	課員	板橋 典俊
新千歳空港事務所	地域共生担当部長	田川 康之

## 防衛省

北海道防衛局	局長（表敬訪問）	末永 広
	次長（表敬訪問）	本田 光徳
	企画部長	諏訪 匡志
	統括調整官	滝川 和志
〃 地方調整課	基地対策室長	小田島 淳一
〃 防音対策課	課長	吉田 義之
〃 企画調整課	係長	茶木 勝祉
航空自衛隊第2航空団		
司令部 監理部	部長	佐竹 正洋
〃	基地対策室長	高橋 秀年
〃	基地対策専門官	小林 巧

# 要 望 書

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」に  
ついて、別記理由により特段の御高配を賜り  
ますようお願い申し上げます。

令和2年10月19日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会 長 丹羽秀則

# 理 由 書

新千歳空港の民間委託につきましては、北海道のリーディングゲートウェイとして、さらなる航空ネットワークの充実強化や広域観光の振興を図るなど、北海道経済の成長・発展に大きな役割を果たすことが期待されております。

一方、新千歳空港の日中の発着枠拡大や運航時間の延長により、航空機の騒音や事故などが一層増える可能性もあり、空港周辺の住民は、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら、生活している状況にあります。

国（貴社）におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところではありますが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 記

- 1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

- 2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

- 3 低騒音機種への切替えを促進すること

- 4 外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

- 5 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

# 要 望 書

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」について、別記理由により特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年10月19日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会長 丹羽秀則

# 理 由 書

千歳飛行場は、航空自衛隊の基幹飛行場として重要性が高まっております。

近年、千歳飛行場では、航空自衛隊の通常訓練と政府専用機の訓練に加え、在日米軍再編に伴う訓練移転の開始により航空機騒音が増え、また、自衛隊機や米軍機の事故など繰り返し発生しております。

一方、宅地開発などにより、航路下地域の人口が増加するなど周辺環境に変化が現れてきております。その結果、飛行場周辺の住民は、航空機騒音による生活環境への影響を受け、また、戦闘機事故に対する不安を抱えながら生活をしている現状にあります。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところでありますが、さらに下記事項について貴職の特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 記

- 1 市街地上空での低空飛行を避けること
- 2 通常訓練の離着陸コースを遵守すること
- 3 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること
- 4 訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること
- 5 自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

# 要 望 書

「防音対策事業」について、別記理由により  
特段の御高配を賜りますようお願い申し上  
げます。

令和2年10月19日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会 長 丹羽秀則



# 理 由 書

千歳飛行場周辺整備事業につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

厳しい財政事情の中にあつて、逐年飛行場周辺地域の環境整備がなされており、感謝に堪えない次第でございます。

しかしながら、千歳飛行場の南方周辺は航空機の頻繁な離着陸による騒音障害と、在日米軍再編に伴う訓練移転の開始により、騒音がさらに増え、周辺住民の生活安定及び福祉の向上のための諸対策が強く望まれております。

つきましては、下記事項について、貴職の特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 記

- 1 住宅防音助成については、対象区域を70Wまで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること

## 要望事項に関する回答要旨（国土交通省及び北海道エアポート(株)）

要望事項	新千歳空港事務所	北海道エアポート(株)
<p>1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>着陸時における飛行高度の引き上げや、離陸時における住宅地域を避けた飛行経路の徹底等、可能な対策を最大限講じている。</li> <li>一方、航空交通の安全確保の観点から、やむを得ず市街地上空を飛行することについては、ご理解いただきたい。</li> <li>現在、コロナ禍で大幅に減便されているが、今後も航空機の低騒音化や技術の進展等と併せて、引き続き騒音の軽減に向けた対策を講じるとともに、北海道エアポート(株)と連携して、航空会社に対する指導を適切に実施していきたい。</li> </ul>	なし
<p>2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること 特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと</p>	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>運航自粛時間における飛行については、天候等やむを得ない飛行もあるが、騒音軽減の観点から、航空会社に対して、運航時間帯の繰り上げや遅延便対策などを講じるよう指導をしていきたい。</li> </ul>
<p>3 低騒音機種への切替えを促進すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低騒音機種への切替えについては、従来どおり固定資産税の減免等の支援を行っている。</li> <li>今度とも低騒音機種への導入を推進していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低騒音機種の切替えについては、現在各航空会社と着陸料について改善交渉を行っている。</li> <li>来年度から新しい料金体制を進めていくため、騒音を組み込む新しい料金システムを現在検討している。</li> </ul>
<p>4 外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、国内線及び国際線については、貨物専用機の定期便の運航はないが、今後飛行計画が策定されたときは、航空会社に対して指導監督を適切に実施してまいりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貨物便は機体が大きいため、それに比例して音も大きくなることから、要望3の回答（騒音課金を含む新しい料金体制の実施）と同じく進めていきたい。</li> </ul>
<p>5 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全運航の確保については、最重要課題であると認識している。</li> <li>本省航空局において、安全監査を通じて、整備点検等の用務の確認を行う等対策を行っている。</li> <li>航空法に基づき報告されたトラブルについては、要因分析を行って、再発防止及び予防安全対策に取り組むとともに、情報公表を行っている。</li> <li>今後とも、安全運航の確保に万全を期して、航空会社等に対する指導監督を適切に実施して、皆様の安全・安心に対する信頼を得られるように努めてまいりたい。</li> </ul>	なし

要望事項	新千歳空港事務所	北海道エアポート(株)
※ 美沢川の水質問題について	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美沢川の水質問題については、航空局から過去の経緯や現在の状況など含むすべての資料を引き継ぎ、実際に現地での研修を行うなどして、確実に継承を行っている。</li> <li>・航空局の取組みを今後も確実に遂行できるよう実施してまいりたい。</li> </ul>

## 要望事項に関する回答要旨（防衛省） 騒音軽減・安全対策

要望事項	北海道防衛局	航空自衛隊 第2航空団
1 市街地上空での低空飛行を避けること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練に参加する戦闘機は、平素から機体の定期整備、飛行前後の点検、隊員の安全教育等を行い、安全管理を徹底しているものと承知している。</li> <li>・騒音等による飛行場周辺への影響を最小限とするよう、深夜早朝並びに土曜日、日曜日及び祝日の飛行は、可能な限り回避するよう配慮しているが、緊急発進や災害派遣等により、飛行する必要があることについては、ご理解いただきたい。</li> <li>・要望内容については、自衛隊にしっかりと伝えけるとともに、事故等に係る情報は、自衛隊と連携し苫小牧市を含む関係自治体に、速やかに情報提供できるように努めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛行訓練については、航空法等に基づき、それを遵守し実施している。</li> <li>・他基地から飛行訓練等で来たパイロットに対しても、千歳基地特有の制約事項等のブリーフィングなど、教育指導を実施している。</li> <li>・今後も安全飛行を念頭に置きつつ、市街地上空の低空飛行を回避するよう配慮してまいりたい。</li> </ul>
2 通常訓練の離着陸コースを遵守すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候等の状況により、安全確保のため、雲を避ける飛行をする場合があることも十分ご理解いただきたい。</li> <li>・可能な限り騒音の軽減に配慮してまいりたい。</li> </ul>
3 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深夜早朝の飛行訓練を自粛しているが、緊急発進、災害派遣等の任務や上級部隊が計画する演習については、飛行する場合がありますことをご理解いただきたい。</li> </ul>
4 訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日及び祝日には、通常の飛行訓練は計画していないが、上級部隊が計画する演習、航空祭及び他基地への展示飛行等の支援については、飛行する場合がありますので、ご理解いただきたい。</li> </ul>

要望事項	北海道防衛局	航空自衛隊 第2航空団
<p>5 自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること</p> <p>また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平素より、定期的な整備、飛行前飛行後の点検等を適切に実施するとともに、隊員教育を実施して事故防止に努めているが、これまでと同様、安全確保を強化してまいりたい。</li> <li>・ 万が一、事故等が発生した場合には、苫小牧市への速やかな情報提供に努めてまいりたい。</li> </ul>
<p>※沖縄の負担軽減について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されたことから、同飛行場周辺の住民に対する騒音の影響が一定程度軽減されているものと認識している。</li> <li>・ 今後とも米軍に対し、飛行場周辺の騒音軽減が図れるよう一層の協力を求めるとともに、訓練移転を積み重ねるなど、可能な限り沖縄の負担軽減に努めてまいりたい。</li> </ul>	<p>なし</p>
<p>※オスプレイの飛行について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前の情報提供について、地元の皆様にご懸念が存在することは承知していることから、引き続き米軍に対し、適切な情報提供に努めるよう求めるとともに、お知らせできる情報があれば、速やかに関係自治体にお知らせしてまいりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前の情報提供については、入手次第速やかに関係自治体にお伝えするよう心掛けたい。</li> </ul>

## 要望事項に関する回答要旨（防衛省）防音対策

要望事項	北海道防衛局
<p>1 住宅防音助成については、対象区域を70Wまで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛行場周辺において、環境基本法に基づき定められた「航空機騒音に係る環境基準について」の趣旨を踏まえ、75W以上の区域において、屋内で60W以下になるよう住宅防音工事の助成の措置をとっている。</li> <li>・75W未満の区域の住宅防音工事の取扱いについては、住宅防音事業の今後の在り方に関わる課題であり、全国の住宅防音事業の進捗状況等を踏まえ、今後の検討課題であると考えている。</li> <li>・(70 W 以上の) 全室を対象とすることについては、現在の住宅防音工事の制度では、75W～85W の区域については、原則、世帯人員+1居室を対象とし、5居室が限度となっていることをご理解願いたい。</li> <li>・なお、特に騒音の著しい85W以上の区域においては、平成14年度から、居住人数に関わらず、住宅の家屋全体を防音工事の対象とする外郭防音工事を実施しているところ。</li> <li>・当面は、当該区域における同工事の促進に努めることが先決であると考えており、助成対象範囲の拡大については、全国の同工事の進捗状況等を踏まえつつ、今後検討してまいりたい。</li> <li>・告示後に建築された住宅の防音工事については、特に地元要望が強いものと承知しており、厳しい財政状況の中、どのような対応が可能か検討している。</li> </ul>

## 令和2年度要望活動結果について (要望活動時の主な質問に対する回答要旨)

### 《新千歳空港事務所及び北海道エアポート株式会社》

#### ● 着陸料について

Q 航空機の低騒音化に従って、着陸料の変更は行うのか。

A 飛行機の重量や騒音、旅客数などの条件を考慮し、今後設定していく予定。

(北海道エアポート株式会社回答)

#### ● デアイシングエプロンについて

Q 新しいデアイシングエプロンの整備はいつ頃予定しているのか。

A 今年予算要求をしており、完成は大分先になる見通し。大きさや規模などの詳細は今後詰めていく。

(新千歳空港事務所回答)

#### ● コロナ禍における新千歳空港の今後について

Q 新千歳空港の需要回復の見通しは。

A 国際線はゼロ。国内線は速報値 50%近くまで回復している。

本来は前倒しでいろいろな工事をしようと考えていたが、コロナの影響で財務状態が苦しいのが現状。安全性確保など機能性の投資と利便性に繋がる活性化の投資に分けて、まず必ずやらなくてはならない機能性の投資をしっかりと行っていきたい。

(北海道エアポート株式会社回答)

#### ● JR 南伸(スルー化)について

Q JR 南伸については現状どのように考えているのか。

A スルー化により人の動線が変わるので、利便性が増すと考えている。経営主体である JR と話し合いなどを行い、民間としてできることはないかということを進めていきたいと思う。

(北海道エアポート株式会社回答)

### 《防衛省 航空自衛隊 千歳基地》

#### ● F-35 の配備について

Q 千歳基地に F-35 を配備する計画はあるのか。

A 防衛白書によると、F-35A 及び F-35B を今後揃えていく予定だが、そこまでしか情報がない。

我々が装備している F15 は、将来的に機体が古くなると世代交代をしなければならないが、それがいつになるかということとはわかっていない。

## ● オスプレイについて

Q 千歳基地にオスプレイを配備する計画はあるのか。

A オスプレイは陸上自衛隊が運用しているので、航空自衛隊である千歳基地に配備する計画はない。

Q 米軍オスプレイが千歳基地を飛行する際は、事前連絡はあるのか。

A 情報がなかなか流れて来ないという現状であるが、情報が入り次第速やかに伝えたい。

Q 陸上自衛隊オスプレイのパイロットは、航空自衛隊で養成するのか。

A 陸海空で航空権を持っているため、陸海空それぞれでパイロットを養成している。そのため、オスプレイは陸上自衛隊で養成している。

### 【参考】陸上自衛隊のオスプレイについて

- ・陸上自衛隊のオスプレイは 17 機導入を予定しており、現在木更津市に 2 機暫定配備されている。3 機目以降の導入スケジュールは未定。
- ・本年 11 月から、飛行を開始している。

## ● 石油備蓄基地上空飛行の可能性について

Q 苫小牧東部の石油備蓄基地上空を飛行する可能性はあるか確認したい。

A 市街地や重要施設の上空は避けて飛行するというのが原則だが、緊急発進の際は、最短経路を經由して飛行するので、進路によっては可能性がないとは言えない。

## 《防衛省 北海道防衛局》

### ● 千歳基地への訓練移転について

Q ブリーフィングなどお願いしたことを理解してやっていただいていると感じている。沖縄の負担軽減なども含めて今後もよろしくお願ひしたい。

A ブリーフィングの実施については、コロナ禍で規模を縮小しての開催となったが、情報発信の機会を確保したという点で意味があったと思う。

### ● 石油備蓄基地上空飛行の可能性について

Q 苫小牧東部の石油備蓄基地上空を飛行する可能性はあるか確認したい。

A 通常訓練では市街地と同様飛行回避に努めている。

スクランブルに際しては、上空を飛行している可能性は否定できない。



● 沖縄の負担軽減について

Q 沖縄の負担軽減に関する騒音に関する数値を確認したい。

A 提供できる。※自治体に提供済み。

【参考】 Guam等への訓練移転の実施期間中における嘉手納飛行場での騒音値等を比較

(1) 嘉手納飛行場内の滑走路端の平均WECPNL値

(滑走路東側)

平成22年度:96.6W

Guam等への訓練移転の実施期間中(平成23年度～令和元年度末)92.1W

(滑走路西側)

平成22年度:93.0W

Guam等への訓練移転の実施期間中(平成23年度～令和元年度末)88.9W

(2) 嘉手納飛行場周辺において目視により確認した1日当たりの平均離着陸等回数

平成22年度:123回

Guam等への訓練移転の実施期間中(平成23年度～令和元年度末)116回

## 令和 2 年度 再編関連訓練移転等交付金事業 (案)

(単位：千円)

事業名	総事業費	交付金				現額	
		①当初額 R2年5月	②変更後 R2年11月	②-① 増減			
植苗・美沢地区	植苗小中学校備品整備事業	18,000	15,000	16,200	1,200	16,200	
	植苗ファミリーセンタースポーツ器具等整備事業	5,941	7,800	5,600	-2,200	5,600	
	植苗児童クラブ整備事業	3,438	5,000	3,000	-2,000	3,000	
	小 計	27,379	27,800	24,800	-3,000	24,800	14.1%
沼ノ端地区	沼ノ端駅前通り歩道改良工事	44,693	40,500	40,500	0	40,500	
	沼ノ端北9号公園整備事業	18,711	18,000	17,700	-300	17,700	
	ウトナイ中学校備品整備事業	8,420	4,000	7,600	3,600	7,600	
	小 計	71,824	62,500	65,800	3,300	65,800	37.3%
勇払地区	勇払消防分団車両更新	36,025	34,000	34,000	0	34,000	
	勇払防火水槽新設工事	18,810	9,300	9,300	0	9,300	
	小 計	54,835	43,300	43,300	0	43,300	24.5%
三地区含む 共通	小中学校図書整備事業	11,000	10,000	10,000	0	10,000	
	小 計	11,000	10,000	10,000	0	10,000	5.7%
共通	夜間・休日急病センター等医療機器整備事業	18,700	10,700	17,700	7,000	17,700	
	高齢者福祉センター備品等整備事業	6,267	5,700	5,700		5,700	
	市立病院医療機器整備事業 (最終調整弁)	9,000		8,980	8,980	8,980	
	小 計	33,967	16,400	32,380	15,980	32,380	18.4%
合 計	199,005	160,000	176,280	16,280	176,280		

再編関連訓練移転等交付金

176,280千円

令和2年 4月 1日 定額分 (一次配当) 101,908千円  
 令和2年10月23日 実績分 (二次配当) 74,372千円

## 令和3年度 再編関連訓練移転等交付金事業（案）

（単位：千円）

	事業名	交付金	
植苗・美沢地区	除雪車両整備事業	50,000	
	星ヶ丘13号線他1線改良舗装工事(実施設計)	6,600	
	小計	56,600	43.5%
沼ノ端地区	東開町防火水槽新設工事	20,000	
	ウトナイ・青翔中学校教育環境整備事業	12,600	
	小中学校蓄電器整備事業	9,000	
	小計	41,600	32.0%
勇払地区	勇払公民館火災受信機等整備事業	11,800	
	小計	11,800	9.1%
三地区含む共通	小中学校図書整備事業	10,000	
	小計	10,000	7.7%
共通	市立病院医療機器整備事業（最終調整弁）		
	小計	0	0.0%
合計		120,000	

再編関連訓練移転等交付金	130,000千円（見込み）
--------------	----------------

※その他検討事業

植苗	植苗小中学校前歩道整備事業
勇払	勇払小中学校教育環境整備事業
共通	保健センター等医療機器整備事業